

経営比較分析表（令和2年度決算）

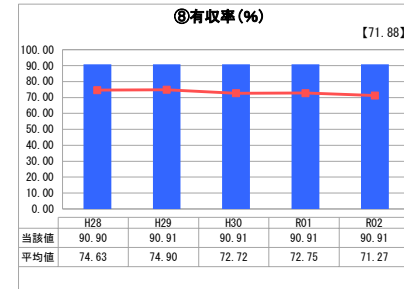
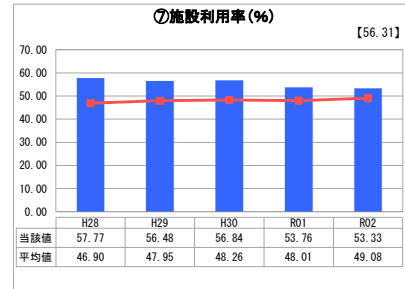
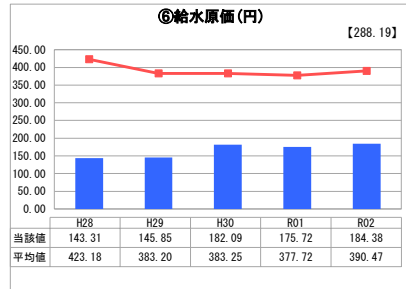
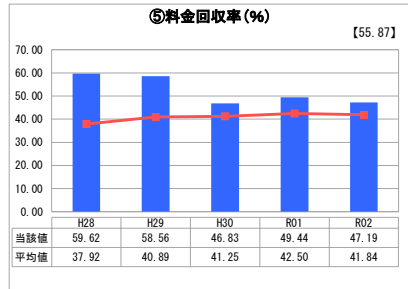
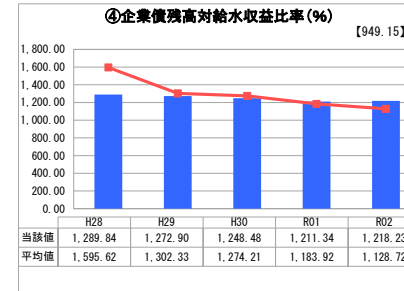
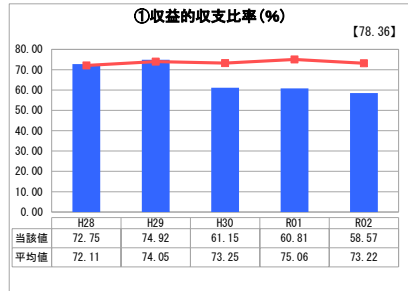
神奈川県 松田町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり客単料金(円)	
-	該当数値なし	13.36	1,485	

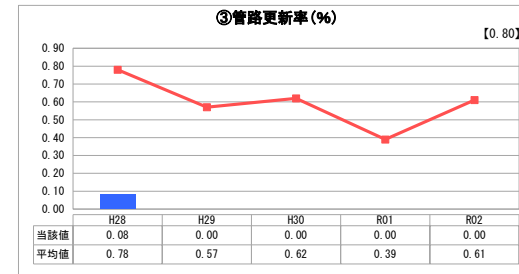
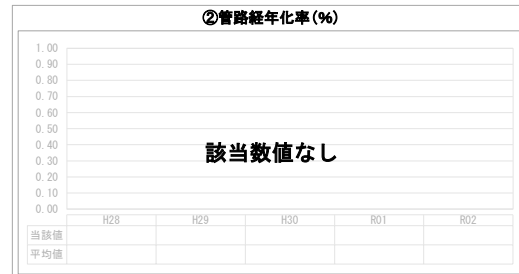
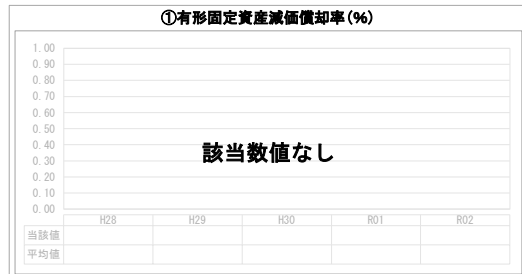
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,931	37.75	289.56
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
1,446	23.31	62.03

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

水道使用料の減少により、収益的収支比率も減少傾向にあり、今後もこのような傾向になることが予想されます。加えて委託費用の増加や修繕費用の増加により給水原価はH28に比べ1.3倍ほど増加しています。さらに保有施設の老朽化が進んでおり、改築更新に係る資本費が増加しています。さらにその費用は企業債により補填を行っており、給水原価はさらに増加することが予想されます。

2. 老朽化の状況について

当該水道はもともと組合水道であった経緯があり、それぞれの自治会が所持していた水道施設を継続して利用している側面があります。そのため、現況施設の老朽化は進み、さらには施設数も多く存在するため改築更新の優先度を鑑みて改築更新する必要があります。使用水量の減少やそれに伴う給水収益の減少から、給水人口に見合った施設の整備などのダウンサイジングなども検討していくべきであると考えています。現状施設ごとの給水エリアは分けられているもののそれらのエリア間での連通や相互補助施設などは存在するため、バックアップ体制についてはこれからも検討を行っていきます。

全体総括

経常収支の減少や人口の減少に対してどのように対応していくべきか検討する必要があります。現状の有収率は平均に比べて高く、料金回収率も減少傾向であるものの平均値より高い傾向にあります。従って、計画的な改築更新を実現するために水道料金の見直しを行い、経常的な収益をもって事業を運営していく必要があります。